

MANUFACTURE OF DOLL

Patent Number: JP1046496

Publication date: 1989-02-20

Inventor(s): ENOMOTO KAZUO; OGAWA YOSHIHARU

Applicant(s):: ENOMOTO:KK; WASHI NO DESIGN:KK

Requested Patent: JP1046496

Application Number: JP19870203035 19870817

Priority Number(s):

IPC Classification: A63H9/00 ; A63H3/36

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To facilitate the fabricating processes and shorten the time of fabrication by selecting the head part including face contour, nose shape, etc., which characterizes a doll to be fabricated among many head models and forming the selected head part on the basis of photographs, illustration, etc.

CONSTITUTION: Many sorts of head models having different face contour, nose shape, etc., are previously formed by an injection molding, etc., using a synthetic resin material such as polyethylene, polyvinyl chloride, etc., and are classified and stored in groups. In conformity to the order to a client, etc., a doll head to be fabricated 1 is selected among head models A which is the most approximate on the basis of the provided photographs, illustration, etc. Eyebrows, eyes 3, mouth 4, wrinkles, and beard/mustache are drawn on the face part of the selected head model 1, and then hairs 5 are implanted. On the ID card, the client's requirement including the eye color and shape, hair color and shape, body weight, tallness, etc., are written by the client himself/herself previously, and if drawing and implantation are executed according to this data, an intended doll having a high degree of similarity is built certainly.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭64-46496

⑬ Int.CI.

A 63 H 9/00
3/36

識別記号

庁内整理番号

S-6822-2C
C-6822-2C

⑭ 公開 昭和64年(1989)2月20日

審査請求 有 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 人形の製作方法

⑯ 特 願 昭62-203035

⑰ 出 願 昭62(1987)8月17日

⑱ 発明者 榎本 一男 埼玉県八潮市木曾根1521番地

⑲ 発明者 小川 良春 東京都文京区本駒込4丁目44番3号

⑳ 出願人 株式会社 エノモト 埼玉県八潮市木曾根1521番地

㉑ 出願人 株式会社 ワシのデザ
イン 東京都文京区本駒込4丁目44番3号

㉒ 代理人 弁理士 佐々木 功

明細書

1. 発明の名称

人形の製作方法

2. 特許請求の範囲

多種類の頭部モデルを予め準備しておき、製作すべき人形の頭部部分を写真やイラスト等に基づいて前記多種類の頭部モデルから選択し、この選択した頭部モデルに眉、目、口その他の頭部位を前記写真等に基づいて描写するとともに、加筆を補足し、次いで常法により人形を製作してなることを特徴とする人形の製作方法。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、いわゆるそっくり人形の製作方法に関するものである。

(従来の技術)

最近、肖像の代わりに自分自身や友人、知人等は有名人の姿に似せた、そっくり人形を作成してもらうことが、はやり始めている。このそっくり人形の製作は、一般に人物の特徴とな部分特に

頭、髪形などを中心として写真、あるいは写真等によりイラストレーターが描写したイラストなどに基づいて製作されるものである。

この製作方法は、写真、イラスト等に基づいて、布地等で作った袋内に綿などの繊維体等を詰めて人形頭部を作り、この人形頭部の頭部分に眉、目、口、その他しわ、ひげなどの頭の部位を適宜材料をもって接着するとともに、頭部にはボアなる長毛生地を接着し、次いで、このように形成した人形頭部に胴体、手、足等を接着し、その後衣服を被着させて製作するものである。

(発明が解決しようとする問題)

しかしながら、このような従来の人形の製作方法では、写真、イラスト等に基づいて一個一個手作りで人形頭部を製作しているが、この人形頭部の製作は時間を要し、しかも、この製作工程は頭の輪郭や鼻の形などの形成によって人形の表情が大きく左右されるので、技術と熟練を要し煩わしいという問題点があった。

そこで、本発明はこのような従来の問題に悩み、

これを解消すべくなされたものであり、製作工程を容易にし、しかも、あまり時間を要せずしてそっくり人形を製作する人形の製作方法の提供を目的としたものである。

(問題を解決するための手段)

上述の如き從来の問題点を解決し、所用の目的を達成するための本発明の要旨とする構成は多種類の頭部モデルを予め準備しておき、製作すべき人形の頭部部分を写真やイラスト等に基づいて前記多種類の頭部モデルから選択し、この選択した頭部モデルに眼、目、口その他の頭部部位を前記写真等に基づいて描写するとともに、かつ頭髪を植毛し、次いで常法により人形を製作してなることを特徴とする人形の製作方法に存する。

(作用)

この人形の製作方法では、予め多種類の頭部モデルを準備しておくので、製作すべき人形の中心となる頭の輪郭、鼻の形などの頭部部分を写真やイラスト等に基づいて前記多種類の頭部モデルから選択して製作するため製作工程が容易となり、

- 3 -

既して準備しておき、次いで、依頼人等の注文に応じて、製作すべき人形の頭部部分を例えば写真やイラスト等に基づいて前記多種類の頭部モデルAから一括りする。この選択した頭部モデル1に、前記写真やイラスト等に基づいて、頭部モデル1の頭部分に第4図に示す如く図2、目3、口4、その他しわやひげなどの頭の部位を從来の人形製作と同様に適宜材料を用いて描写する。

次いで、この描写した頭部モデル1に写真やイラスト等に基づいて第5図に示す如く頭髪5を公知の手段を用いて植毛する。

なお、上述の頭部モデル1に図2等を描写する際及び頭髪5を植毛する際には、予め依頼人にIDカードなどに眼の色や形、髪の毛の色や形、体色、身長等を書き込んでもらい、そのIDカード及び写真やイラスト等に基づいて描写、植毛すれば目的とするそっくり人形が確実に出来上がることとなる。

このようにして図2、目3等を描写するととも

しかもあまり時間を要せずして製作されることとなる。

(実施例)

次に本発明の実施の一例を図面に基づいて説明する。

第1図は予め準備される多種類の頭部モデルの正面図及び部分側面図である。図中Aは、予め頭の輪郭、鼻の形が粗造した多種類の頭部モデルであり、該多種類の頭部モデルAは、ポリエチレン、ポリ塩化ビニル等の合成樹脂材料を使用して射出成型等の成型手段により製造される。

この多種類の頭部モデルAは、頭の輪郭を例えれば、丸頭、四角形の頭、おむすび形の頭などに多種類に形成するとともに、その多種類の頭の輪郭に団子鼻、しし鼻などの多種類の鼻を形成して分離し、予め準備しておくものである。この多種類の頭部モデルAを不透明で肌色にしておくと便利である。

このようにして人物の特徴となる頭の輪郭、鼻の形などからなる多種類の頭部モデルAを予め分

- 4 -

に、頭髪5を植毛した頭部モデル1に、第6図に示す如く常法により胴体、手、足等を装着し、前述の写真やイラスト等を参考にして衣服6を被着すれば本発明の人形が製作されることとなる。

(発明の効果)

本発明の人形の製作方法は、上述の如く構成され、多種類の頭部モデルを予め準備しておき、製作すべき人形の頭部部分を写真やイラスト等に基づいて前記多種類の頭部モデルから選択するとともに、この選択した頭部モデルに眼、目、口、その他の頭の部位を描写し、かつ頭髪を植毛し、次いで常法により人形を製作したことによって、人形の表情が大きく左右される頭の輪郭や鼻の形などの形成に技術と熟練を要せず、しかも製作時間が短縮されるので製作が容易となる利点を有する人形の製作方法を提供できることとなった。

また、製作工程も容易であるため量産可能となり価格も低廉なものとして需要者に提供することができるものとなっている。

このように本発明は図示した効果を有しているも

- 5 -

-696-

- 6 -

ので、本発明を実施することはその実益的価値が
甚だ大なるものがある。

4. 図面の簡単な説明

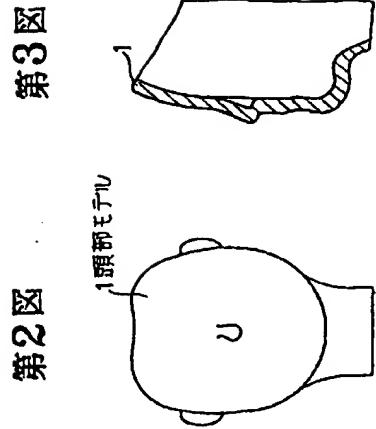
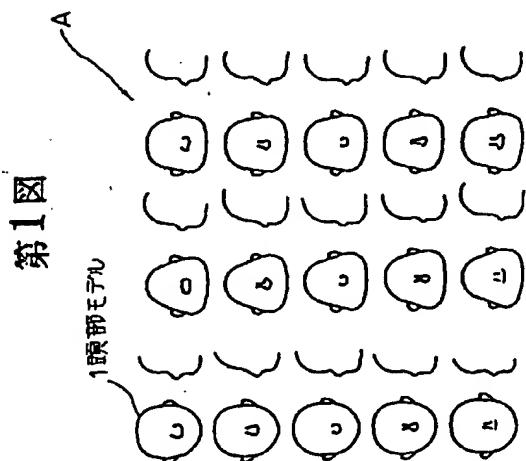
図面は本発明の実施の一例を示すものであり、
第1図は多種類の頭部モデルを示す正面図並びに
部分侧面図、第2図は第1図から選択した頭部モ
デルの正面図、第3図は第2図の頭部モデルの部
分横断面図、第4図は第2図の頭部モデルに眼、
目、口等を描写した正面図、第5図は第4図の頭
部モデルに頭髪を描毛した斜視図、第6図は本発
明方法により完成した人形の斜視図である。

1…頭部モデル、2…眼、3…目、4…口、5
…頭髪、6…衣服。

特許出願人 株式会社エノモト
株式会社ワシのデザイン

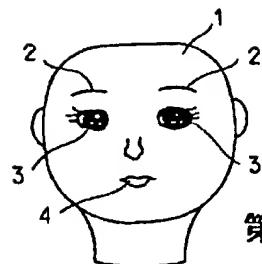
代理人弁理士 佐々木 功

- 7 -



第5図

第4図



第6図

